

◎基本情報

事務事業名	鳴門市地域福祉(活動)計画策定事業		担当部署	健康福祉部 社会福祉課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	社会福祉法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 27 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		地域福祉			
施策	3	地域福祉の総合的推進			
基本事業	4	地域福祉計画の策定			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 地域住民、社会福祉を目的とする事業を営業者、社会福祉に関する活動を行う者、市						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①現行の仕組みでは対応しきれない地域の多様な生活課題に対応するために、地域福祉をこれからの福祉施策の重要な分野として位置付け、地域に密着した福祉サービスを計画化し、整備していく。 ②住民と行政とが協働して、地域福祉推進のための福祉サービスの整備や活動の開発、協働のルールづくりなどを構想し、計画化する。 ③徹底的な住民参加により計画を策定していくことで、住民の地域福祉に関する意識の醸成、住民・地域・団体・市社協・市の相互の関係形成、地域の実情に即した地域福祉実践活動の創出などを図り、住民と行政が協働して「新たな支え合い」の仕組みをつくりだす。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	・広報紙やウェブサイトの活用ならびに地域福祉講演会開催による、住民への地域福祉の意識醸成を図るための周知啓発 ・徳島大学研究室との共同研究に向けた協議 ・地域福祉計画等策定プロジェクトチーム発足 ・地域福祉計画審議会の開催 ・地域福祉計画等市民会議委員公募ならびに市民会議・地域座談会の開催 ・徳島大学との共同研究契約締結						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		計画策定		市民会議 地域座談会 開催	計画策定			

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	住民の地域福祉への関心を高めるため、広報紙や公式ウェブサイト等の活用や地域福祉講演会開催により、地域福祉の考え方や住民参加の必要性等を広報周知することで住民の福祉意識の醸成を図った。 計画の策定方針や体制を明らかにするため、地域福祉計画審議会の設置した。 官学協働も見据え徳島大学との共同研究契約を締結した。 地域住民と市・市社協職員で構成する市民会議を設置し、市民会議メンバーならびにその他地域住民による地域座談会をワークショップ形式で地域別で開催している。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
	指標名	27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 地域福祉計画審議会開催	0	1	3			回	
	2 市民会議・地域座談会開催	0	16	58			回	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	計画策定		継続	-	-	-		
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%	
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	516	516
		補正予算額	0	0	0	0	997	997
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	1,513	1,513
		決算額	0	0	0	0	757	757
		繰越額	0	0	0	0	500	500
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費	
	0.2	0.1	1,631		2,388			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：鳴門市地域福祉(活動)計画策定事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費		757	1,199		
	うち一般財源		757	1,199		
	人件費		1,631	2,140		
	総事業費		2,388	3,339		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	計画策定のための地域福祉計画審議会を設置し、市民会議メンバーの選任と、地域座談会を開始することができた。
	効率性	B:概ね効率的だった	正規職員2名と再任用職員1名で業務を分担しながら活動を行った。
②成果に対する評価	指標名	計画策定	
	目標	市民会議地域座談会開催	広報誌やウェブサイトでの周知の効果もあり、地域座談会への参加者の活発な意見も聞かれるなど地域住民の意識も高まってきていると思われる。
	実績	継続	
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価	B		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	<p>・地域福祉計画は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画や子ども・子育て支援事業計画、障害者計画、その他地域福祉に関連する計画との整合性を確保することが不可欠である。</p> <p>・住民参画型計画の策定過程においては、地域住民自らが地域の課題に気づき、地域として取り組むべき役割を認識し、また市社協や行政の役割を明確化するとともに、新たな社会ネットワークや不足する社会資源の構築・整備をしていくことが必要となってくる。こうした計画策定の過程そのものが、住民主体の地域福祉の実現につながることから、市民会議や地域座談会に多くの住民が参加して地域福祉を我が事としてとらえ、各々の意見表出してもらうための周知広報が重要となってくる。</p>				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	市民会議メンバーを中心に地域座談会をワークショップ形式で引き続き開催。地域の生活課題を解決するために必要となる地域活動や社会資源、制度などについて協議・検討を行い、課題解決に向けて計画素案を作成する。審議会で素案内容を審議し、修正・追加の意見をうけ庁内プロジェクトチームメンバーで計画素案を校正し、議会の意見聴取の後、パブリックコメントを実施する。その後、審議会での最終案を議会に報告し、市長に答申後、策定する。			
	H30年度				